



☆登山の下見報告会と取組の様子から

6月27日(木)6校時の総合的な学習の時間に登山事前学習として下見報告会が行われました。23日(日)24日(月)に1泊2日で北岳登山の下見に行ってきた先生方がコースの様子や実際に登って感じたことなどを話してくれました。1日目にはかなり強い雨の中を歩いた苦労や宿泊場所になる3000mの肩の小屋の様子などは実際に体験した、見てきたからでしょう、生徒にしっかりと伝わったように思います。



全校登山に向けての取組が始まってから約1か月が過ぎました。はじめのうちはそれぞれの人が自分勝手なことを言ってバラバラだった様子が、最近は少しずつ「みんなでまとまって」という様子に変わってきたように思います。体力がある人ない人、山が好きな人嫌いな人、我慢強い人そうでない人・・・色々なタイプの人があります。チームとして目標(頂上)に到達するためには、自分とは違う仲間のことを理解して自分がどうすればいいのかを判断して行動する必要があるでしょう。体験や活動を通して少しずつ生徒の中にこうした力が育ってきているのではないかと



感じています。今回の登山に向けて生徒たちは登山旗を作っています。その様子を見ていても、自分勝手に好きなことを言っているようでしたが、ちゃんと自分がやるべきことをして作業を進めていました。少ない人数ではありますが、こうしたチームとしての活動が生徒の社会性や人間関係形成能力にとって大切な機会であると改めて感じています。

☆結果を次にいかす

7月1日(月)と2日(火)に期末テストが実施されました。1年生にとっては初めての期末テストでした。テスト前はひびきの時間などを使い勉強に取り組む姿も見えました。テストの結果については一人一人違いますが、「他人と比べてどうだったか」を考えるよりも、まず「自分がした毎日の授業や家庭学習の積み重ねの成果としてどうか」「自分が目標としたことに到達できたか」を振り返り、「十分満足いく場合は継続」「満足できないときは原因の分析と具体的改善方法」を考えるとよいでしょう。とはいっても自分ですべて考えることは難しいところもあると思います。どうぞ三者懇談の際に担任に相談してください。



☆芦安ふれあい運動会に向けて

まだまだ先のことのようにですが、すでに学校の中では9月21日(土)に予定されている芦安ふれあい運動会についての準備が着々と進んでいます。小学校、中学校と地域・保護者が一緒になって実施する行事で、私自身初めて経験する形式の行事です。どんな様子の運動会なのかまだ想像がつかないところがありますが、校長として期待や意識していることとして次のようなことがあります。

- ・小学校と合同で実施するのだから中学生全員が年長者としての自覚や責任を持って行動するような機会にしたい。
- ・運動については得意不得意があるかもしれないが、誰もが精一杯練習に取り組みその成果を多くの人に見てもらい認めてもらえる機会にしたい。
- ・普段いろいろな面で自分たちを支えてくれている地域の方に感謝の気持ちを持ち、それを行動で表す中学生の姿を見せる機会にしたい。

具体的な練習や取り組みは2学期が始まってからとなりますが、生徒会役員を中心に中学生みんなで知恵を出し合い、協力しながら生徒の力でつくりあげる行事にできたらいいなと思っています。ご協力をお願いします。

☆がんばれ3年生！最後の大会へ

運動部の3年生にとってよいよ最後の大会「県総合体育大会」が近づいてきました。芦安中学校バトミントン部3年生は1名しかいません。ただその様子を見ているとバトミントンにまじめに取り組んできたこと、バトミントンが好きなことが伝わってきます。3年間部活動が続けるにあたってはきっといろいろな苦労や困難があったと思います。だからこそ、これまでの練習の集大成として悔いの残らない試合をしてもらいたいと思います。

部活動は、ほぼ毎日何年にもわたって取り組む活動です。こんな活動はなかなかありません。それだけに真剣に取り組むと多くのことを学べる活動と言えます。1,2年生のみなさんにも1年後または2年後に「最後の試合」がやってきます。その試合が終わった時に「やりきった」と思えるように、今を大切にしてもらいたいと思います。

☆小笠原流礼法の授業

7月5日(金)に小笠原流礼法師範網倉和美様を講師として迎え、学年ごとに1時間の道徳授業を行いました。座る姿勢や立つ姿勢、礼の仕方など具体的な所作だけでなく、なぜそうするのかといった理由まで丁寧に教えていただきました。授業の様子を見させていただく中で、「相手を敬う気持ち」が日常のいろいろな所作に出るのだと改めて感じると同時に、自分の所作の見苦しさを恥ずかしく思いました。

「礼法」などと聞くと堅苦しく特別な印象があるかもしれませんが、普段の言動一つ一つに「思いやりの心をこめること」や「思いやりの心が込められていること気づくこと」ができるようになれば、それは素晴らしい力だと思います。今日の授業が生徒たちの中にそうした力をつけるきっかけになればと思います。



☆全校登山に行ってきました

7月8日(月)から1泊2日の日程で北岳登山に行ってきました。日本で2番目の高峰であるだけに簡単ではありませんでしたが、参加生徒全員大きなけがなく戻ることができました。また2日間を通して多くの生徒が頑張りやいいところ、成長していく姿を見せてくれました。一教師として純粋に生徒のそうした姿を見られたことがうれしかったです。下山後にした会の中で教頭先生が話してくれた言葉の中に、「一番素晴らしいのは実際に自分の足で登ってきた生徒のみなさんの頑張り、頑張った自分を誇りに思えるようにしよう。もう一つ、頑張れた陰にはそれを支えてくれた人がいることに気づき感謝できるようにしよう」という意味のことがありました。今回のように大人を含め20人のチームとしての登山を経験することは、生徒にとって多くの学びがあったと思います。その学びの一つとして生徒のみなさんに大切にしてもらいたい言葉だと思いました。「北岳にいったただけ」にならないように…

もう一点、生徒の活動とは違うことですが、今回の登山の途中で偶然出会った方から「昔は登山を経験させる学校がたくさんあったが、最近はあまり聞かなくなった。世の中の流れでやむを得ないことかもしれないが、苦労に耐え、乗り越えた先の喜びを身をもって体験するいい機会なのに…素晴らしいことなのでぜひこれからも続けてくださいね」と言われました。確かに今の世の中「できるだけ苦労をしないように」「面倒なことはしない」「コスパ、タイパが悪いことは無駄」という方向に物事が進むことが多いように感じます。ただそうした時代の中で、芦安中学校の伝統行事の価値や私たち教師の狙いを理解していただき評価して下さる方がいることをうれしく思いました。

